



ROTARY CLUB OF

NARITA AIRPORT MINAMI

DISTRICT 2790

成田空港南R.C. 会長テーマ
小さな親切

思いやり

WEEKLY BULLETIN

国際ロータリー第2790地区第6分区分

創立 昭和41年10月6日
承認 昭和41年11月21日
例会日時 毎週木曜 12:30点鐘
(最終例会 18:30点鐘)
例会場 中国ダイニング富士屋
事務局 〒289-1732
千葉県山武郡横芝光町横芝1519-6
TEL 0479-80-1177 FAX 80-1178
URL <http://www.narita-airport-m-rc.jp>
E-mail info@narita-airport-m-rc.jp

第2790地区ガバナー 崎山 征雄 第6分区分ガバナー補佐 進藤 義男

平成21年4月23日発行 NO.1887第2015例会 会長 富 一美 会報担当 伊藤 元雄



例会報告(平成21年4月23日)

点 鐘 会 長 富 一美
ソ ン グ 「それでこそロータリー」
唱 和 「四つのテスト」
会 長 挨拶 会 長 富 一美
会 務 報 告 会 長 富 一美
幹 事 報 告 幹 事 小林定雄
プ ロ グ ラ ム

各委員会報告

会員卓話 押尾正康会員

に出席していただきました。ここで、例会出席について少しお話してみたいと思います。

ロータリーは「人作りの場である」と申しますが、併せて社交クラブでもあるわけです。

自クラブばかりでなく他クラブにもロータリーの思想を共有し、心の許しあえる友人がいて、例会を通じてたまに会い、誼みを通じあえることの喜びを感じたことと思います。入会当初ロータリーについて何も知らなかった私にとりましても、週一回昼の例会に出席することが大変困難な時期もありました。

しかし、出席を義務と考えると大変に思うのですが、そうではなくて「自分達は例会に出席することが出来るという素晴らしい権利がある」のだと考えたときから例会出席が楽しくなってきたことを覚えております。

昨日、菅井会員と私の二人で銚子ロータリークラブさんへメイキャップをして参りました。じつは、急に行こうということになったのですが、驚いたことに旧知の親友のように迎えていただき、大変感激をいたしました。

本当にロータリアンで良かったなとつくづく思います。

皆さんも、ロータリアンである以上世界中のどちらのクラブへも出席できる権利があるということを考えると例会出席が楽しくなってくると思います。

少し、話は発展しますが、日本ロータリーの創始者であります米山梅吉氏の言葉に、「ロータリーは単なる寄付団体でも慈善団体でもなく、又、単なる奉仕団体でもない。ロータリークラブは奉仕を行う事すら必要ではない。奉仕はロータリアン個人が行うことであり、クラブはそんなロータリアンを育てる教育機関であると明確に示しておられます。」では修練の場は何か。それが例会であります。だから例会は毎週あるわけです。

ここで、米山梅吉氏の言葉の中でロータリークラブは奉仕を行う事すら必要ではないと言われている

会長挨拶



みなさんこんにちは。

先の東金ロータリークラブとの合同例会は、大変御苦労さまでございました。夜7時からのお会並びに当日の日中に行われました親睦ゴルフにおきましても、かつてないほどの多数の参加者を得まして、当クラブの会員の皆様の絆の強さを今更ながらのよう感じた次第でございます。

改めまして、会員の皆様に心から感謝を申し上げます。東金ロータリークラブの神定会長も大変感激を致しておりました。又、神定会長より当クラブの皆さんへ「宜しく」と申し付かっておりますのでお伝え申し上げます。

このたびの移動例会は、多くの新入会員の皆さん

部分について、誤解を招くといけませんので説明しておきますが、

米山さんは、「ロータリークラブは正確な意味における奉仕クラブとは言い難い。なぜなら、クラブの名前をもって奉仕することは例外で、ただ会員の自覚を促すために行うのだ」と申しました。つまり、ロータリーが奉仕をするのではなく、あくまでもロータリーという組織の中にある一つ一つの細胞であるロータリアンが奉仕の実践をするのだと言う意味です。

以上で説明を終わりました、話が前後して申し訳ありませんが話を元に戻します。

もしロータリーが寄付団体であれば週一回も例会をする必要はありません。月一回または年一回の総会でも良いと思います。

又、ロータリーが単なる奉仕団体であるならば、奉仕の上手な人に何年も会長を務めてもらえば良いと思います。

しかし、ロータリーは毎年会長が代わります。それは色々なポジションを経験することによって会員に色々なことを学んで頂く、それをロータリーが求めているからであります。

米山や財団も一つの奉仕の形であり、奉仕の実験室と言われるものがそこに存在致します。通常社会では損か得かの判断であるものが、それが正しいかどうかという気持ちになったならば、その心の中にあるのが多分ロータリーではないでしょうか。

■ 会務報告

1. 第6分区親睦ゴルフ大会開催について

東金ロータリークラブをホストとして、以下の日程で第6分区親睦ゴルフ大会が開催されます。

5月15日(金) 新千葉カントリークラブ

2. CLP委員会開催について

富年度第3回目のCLP委員会を4月18日(土) 11:00から吾妻庵で開催致しました。この後、内田CLP委員長からご報告をお願い致します。

3. 地区協議会開催について(再報告)

4月29日(水)アパホテル&リゾート東京ベイ幕張にて9:00受付、10:00点鐘にて地区協議会が開催されます。次年度各常任委員長の皆さん並びに担当委員の方には、ご出席の程宜しくお願い申し上げます。

後ほど、古西次期幹事から交通手段につきまして、ご案内をお願い致します。

4. バナー作成の報告について

御覧の通り、新しいクラブバナーを作成致しましたので、ご報告致します。

尚、このデザインについては、中村ガバナーエレクトから頂いたものです。

■ 幹事報告

①例会変更のお知らせ

・茂原東R.C.

5/6(水) 休会(定款第6条1節による)

・茂原中央R.C.

5/5(火) 休会(定款第6条1節による)

②茂原東R.C.より幹事変更のお知らせ

当年度4月~6月 幹事代理 丸嶋孝明(次年度幹事)

③5月のロータリーレートは、1ドル=98円

④『友』インターネット速報No.377(4月14日号)、ハイライトよねやま110号(4月13日号)が届いております。

⑤ロータリーワールド2009年4月第15巻第4号が届いております。

⑥週報受領クラブ

・銚子R.C. ・茂原東R.C. ・茂原中央R.C.

・東金R.C. ・茂原R.C. ・八日市場R.C.



■ 委員会報告

◇地区クラブ奉仕委員会

菅井 直秀 委員

ロータリーひとくち情報として、東京浅草R.C.会員稲田輝明氏の「退会の弁」(ロータリーの友2009年4月号p.16より抜粋)が紹介されました。

◇第3回CLP委員会報告(4/18実施)

CLP委員長 内田 裕雄
富会長が熱意をもって対応されたCLP導入初年度。その機能が充分発揮されたかどうか、活動実績を振り返り、成果を検証し、又、将来に向けての第





3回CLP委員会を開催致しました。富会長、各委員長から計画の実施状況について、次のように報告があり検討しました。

①会員増強と退会防止委員会について

- ・新入会員の東京RCメークアップは4月8日実施した。

- ・会員増強は紹介者のご尽力等により純増4名を達成した。併しそれに満足することなく会員1人1人の力も借りて引続き続行する。

- ・特に次期鈴木年度を踏まえて芝山地区の増強を強化する。

長期欠席者に対して、もっと紹介者が積極的にフォローする。

②クラブ広報委員会について

- ・計画事項はほぼ達成
- ・継続的なものについては現在進行中

③クラブ管理運営委員会について

- ・計画事項はほぼ達成
- ・継続的なものについては現在進行中

④奉仕プロジェクト委員会について

- ・計画事項はほぼ達成
- ・継続的なものについては現在進行中

⑤R財団委員会について

- ・計画事項はほぼ達成
- ・継続的なものについては現在進行中

⑥鈴木年度について

- ・鈴木年度のプログラム作成の進行状況と富年度の実績に基づく方向性について協議を致しました。

- ・鈴木年度の数値目標の設定の見直しを富年度から再度検討する。

- ・奉仕の実践活動地域については、横芝光地域に偏ることなく、山武、芝山地域を検討する。

- ・その他

出席報告



| 例会日 | 会員数 | 出席 | MU | % |
|-------|-----|----|----|-------|
| 4月23日 | 46 | 30 | 16 | 100.0 |

☆ 欠席をしたらメークアップをしましょう ☆

会員卓話

「冠婚葬祭について」

押尾 正康 会員



- のし袋の基礎知識
 - ・伝統的な贈り物の包み
 - ・のしの由来
 - ・水引の由来
 - ・水引の本数
 - ・水引の使い分け
 - ・和紙
 - ・外包みの折り方
- 表書きの書き方
 - ・のし袋の書き方
- のし袋のきまり事
 - ・祝事ー結婚のお祝い
 - 一般的なお祝い
 - お見舞い
 - ・弔事ー仏式
 - その他の宗教
- 服装について

※地域や宗教による違いを大切に使い分けましょう。

ニコニコボックス

鵜沢光男君

…誕生祝をいただきました

押尾正康君

…卓話をさせていただきます，誕生祝をいただきました

菅井直秀君

…仕事が暇です

青柳誠君・富一美君

…押尾会員卓話をありがとうございました

川島宥君

…東金RC親睦コンペでメーカー賞をいただきました，合同例会にバスを使って頂いたので

土屋俊夫君

…千葉市内に姉妹店が出来ました

大竹操君

…名刺をいただきました

森川忠会員

…ブログを開設しましたので見て下さい

小林定雄君・高田一行君

…合同例会に出席ありがとうございました

| | |
|-----|----------|
| 本日計 | 16,000円 |
| 累計 | 929,711円 |

「楽をする誘惑」

パストガバナー 土屋 亮平
(松戸ロータリークラブ)

現代社会は、容赦ない競争社会・殺人的な市場原理主義一辺倒の経済構造で構築されてしまいました。社会に於ける競争のスピードに合わせ走れない者は容赦なく取り残され、おまけに落伍者と烙印されてしまいます。息絶え絶えに舌を垂らし、涎を流しながら先を走るものを追いかけて、走り続ける様は正に狂気の沙汰としか言いようがありません。

しかし、われわれは不幸にしてその様な事態を、文明の進歩と名付けてしまったのです。そんなに急いでわれわれは、何処へ行こうとしているのか？ 何から逃れようとしているのでしょうか？ 殊によると、こともあろうに私達自身の良心から逃げよう、遠ざかろうとスピードを上げているのではありますまいか。

その様に消失してしまった良心の部分を補うかの様に、最近得体の知れない事件が多過ぎると思いませんか。例えば子供が自分の親殺し、逆の自分が産んだ子殺し、無差別殺人、麻薬依存者の激増、精神疾患者の急増など、見失った良心の代償として、その空白部分をやみくもに繕って居るのかも知れません。我々が進歩と称し、日々努力して来た成果は、本当は良心不在の世界を目指して居るのかも知れません。

ある文化人類学者が、アンデスのインディオから聴き取り調査を実施中のことです。あるアンデス山系の麓に突き当たりました。その中腹の狭い平地にインディオの部落がありました。しかし部落の周辺には水汲み場は無く、山のすそ野にあるだけでした。

毎朝村の女性達の一番の仕事は20分山を下り、水を満たした瓶を背負い倍の時間をかけて山を登る事でした。朝食を終えると、半時も時間かけて山を登り畑にたどり着きます。ひがな1日畑を耕し、夕方に山を下って、家にたどり着きます。休む間もなく夕餉の支度の為、今朝の水汲み場へと。何の疑問も、抵抗も感じない毎日の繰り返しでありました。これを観察していた、彼の文化人類学者はインディオの女たちに、こう提言をしました。『始めから村を、すそ野の泉の側に建てた方が、よいではないのか』

女たちは口ごもりながら、こう答えました。

『利口だとは思いますが、楽をする誘惑に負けるのではないかと、怖いのです』

楽をすることが、何故誘惑なのでしょう。

「私たちの回りを見ると掃除機、洗濯機、冷蔵庫、電車、自動車、飛行機一言で言えば、現代社会は日常生活を楽しくし、より快適な生活を送れる様に、日々進歩を続けております。これらは私たちの生活を楽にし、面倒な仕事を代わってくれ、私達を煩わしさから解放してくれ、余った時間をより重要なものに当てることが出来る筈であります。

確かにそうです。唯、何から解放してくれると言うのでしょうか？ 全て面倒な仕事から解放されると言うことが、どんな意味をもつと言うのでしょうか。

例えば、子育てを考えてみましょう。最近の傾向として乳児期を過ぎる頃から、保育園に預けます。つぎの幼稚園ぐらいまでは、親としての自覚をもつことは可能でしょう。しかし、小学校になると先生任せが主流になり、中学校、高校、大学は言わずと知れた全て学校任せ。親としての本質的な子育て知育、徳育など、とうの昔に放棄してしまっているのではありますまいか。この事が、文化人類学者が疑問を感じた「ひょっとすると、こともあろうに本質的なものから解放されてしまうのではないだろうか」と危惧するところではないでしょうか。

これは子育てばかりではありません。日常生活は言うに及ばず、社会活動、経済活動にも当てはまるではありませんか。

明治初期のことです。英国の女流エッセイストが東北地方を馬子つきの馬で取材旅行した時の話であります。ある日のこと、彼女が昼食を摂るために旅籠で休みました。再び出発して1時間後、彼女は締めていたベルトを旅籠に忘れて来たことに気がつきました。くだんの馬子が忘れ物のベルトを、数キロも戻って取って来てくれました。彼女は戻ったベルトの謝礼を馬子に渡そうとしましたが、固く辞退されてしまったと書いています。当時であれば、舶来のベルトなど正に珍品中の珍品であったに違いありません。置き忘れたベルトをネコババする者も居なかった陸奥街道の住民の徳の高さ、日本人の律儀さに感服したと書いて居ります。

日本文化は『恥の文化』と云われてきました。かつてのわれわれの先祖は馬子や旅籠の女中に至るまでが『君子』の生き方をすることに美学を感じて居たに違い有りません。昨今のメディアの報道にも、メディアそのものの犯罪は論外として、

数々の偽装事件、公共事業の談合事件、公共機関の陸・海・空の利益優先の不始末の数々。かつては、馬子や女中までも持ち合わせていた『君子の美学』など見る影もないのは、悲しい限りであります。現在の 대기업といえども、創業時はみんなベンチャー企業であって、如何に信用を獲得するか真剣に取り組んでいた筈であります。それが何時の間にか「見つからなければ、何をやっても構わない」と言う風潮、「儲ける為なら少々のご事は許される」と言う拝金主義が横行しているからであります。すべからず『初心忘るべからず』を心に刻むべきで在ります。

大分県の教育委員会の汚職事件が騒がれました。同委員会に「子供達が『先生幾ら払ったの』そう尋ねる子供達が大勢居る。廊下を走り回って注意されると『お金を払って先生になったのでしょ。偉そうに言うな』これを保護者に連絡すると『子供たちは間違っていない』」等の報告があったようです。これでは教育は成り立ちません。事態は深刻であります。関係者の間で法令を守る意識の希薄以前に、職業倫理の欠如（モラル・ハザード）があることは言を待ちませんが、監督すべき立場の人達、子供の保護者のモラルの欠如となるとは、由々しきことであり、日本の未来に暗雲の陰りを感じてなりません。

ビチャイ・ラタクル元RI会長も国際ロータリーの歩む方向に疑念を感じ、国際協議会の席上で『来し方を顧み・行く末を見つめて』と題する講演をされました。

『全てのロータリアンが親睦と職業奉仕の重要性を認識して下さい。この2つの要石を蔑ろにすると間違いなく信望を失い、ロータリーは衰退してしまいます。職業奉仕は、われわれロータリアンの良心をテストする試験場です』とロータリーの基本中の基本「親睦と職業奉仕」即ち「奉仕の概念の発生源である親睦」と「職業倫理の意識改革による職業奉仕の実践」を強調されました。そして、2つの要石の鍵を見失うと、間違いなくロータリーは衰退してしまうであろうと警告されました。

4大奉仕の内、唯一職業奉仕は自分の職業に対して何かを奉仕するものではありません。会員個人個人が自分の職業の質を高めること、道徳心を高揚させること、これを自分の職業に反映させることが基本であります。この精神を自分ばかりでなく自分の職場は勿論、同業者を含む業界に、異業者にまで拡大させることが全ロータリアンの使命であります。勿論、クラブの職業奉仕委員会と言えども、個々の会員の職業の質を高めることや、道徳心を高揚させることなど不可能であります。

そもそもクラブの職業奉仕委員会の任務は、間接的ではありますが個々の会員に対して自己研鑽を啓蒙したり、勉強会を開催して会員の質を高めることにあります。

1950年ロータリー創立当時は勿論、地区も国際ロータリーもありませんでした。ましてや、ガバナー補佐、ガバナー、RI理事などと云う指導層の存在は皆無でありました。それなのに立派にロータリアン同志が親睦の実をあげ、互いに研鑽しあい、奉仕活動に精を出して居たではありませんか。そして職業倫理の誠を貫くことが、自分の職業の繁栄に繋がることを身を以て体験し、即ち「4つのテスト」を実践することが、事業の繁栄を実証したではありませんか。日常の厳しい現実にも身を置く職業人としてロータリアンに期待したいのは、思い遣りの心の熟成であり、品格の向上を目指すことであります。

内村鑑三は大正15（1926）年、65才の時「成功の秘訣は」との問いに対して、次の様に答えております。『成功本位のアメリカ主義に習うべからず、誠実本位の日本主義に則るべし。雇い人は兄弟と思うべし、客人は家族として扱うべし。誠実によりて得たる信用は最大の財産なりと知るべし。人もし全世界を得るとも、その靈魂を失わば何の益あらんや。人生の目的は金銭を得るにあらず、品格を完成するにあり』正に職業倫理の実践が人生の目的であり、品格を完成させる事こそ職業奉仕の神髄でありましょう。

全人類の幸福の為にと、世界平和の実現の為と云う様な、天空に輝く星を物干し竿でかき回すよりも、己の足元の小石を如何に拾うか、拾えるかが、ロータリー存続を問う鍵であると信じて止みません。

21年前、私がガバナー公式訪問の折り、「人が生きると言うこと」と題する詩を朗読致しました。当時在籍されていた方々のご記憶かと存じますが、人生に虚しさを感じ、ロータリーに疑念をもたれた時に、この詩を思い出して下さいと前置きして。

人が生きると言うことは、誰かに借りをつくること

その借りを返していくこと

人が生きると言うことは、誰かと手を繋ぐこと

その手の温もりを忘れないでいくこと

巡り合い、愛し合い別れた後に

悔やまない様に、今日、明日を生きよう

人は一人で生きて行けない

人は一人で歩んで行けない

合掌

ロータリー広報委員会

国際ロータリー第2790地区 公式ホームページより

2009年4月20日 崎山ガバナーより「CLP」についての記事がありましたので転載します。
クラブ広報委員会委員長 土屋 俊夫

国際ロータリー第2790地区
ロータリークラブ 会長 及び 幹事 各位

冠省
最近あちこちのクラブから「CLP」についての問合せをいただいております。
CLPについては公式訪問など各種会合にて必ずその内容核心部分について 2002年より当地区でも実施済みのDLPとともに説明してまいりましたが、今一段のご理解をいただきたく、ご参考までに下記資料をお送りします。

これは、2008年1月に行われました国際協議会初日に 李東建RI会長エレクト、ウィルフリッドJウィルキンソンRI会長に続いて 3番目にレイ・ヒギンボサム氏が話したものです。

その核心部分は2ページ目の5～9行目にはっきりと、記載があります。

なお、さらに2005-07年度重田RI理事も、同様内容の原稿を 作成しています。-

ご理解の程宜しく願います。

草々

ガバナー 崎山 征雄

クラブ・リーダーシップ・プラン：
消滅させることなく採り入れよう

レイ・ヒギンボサム、
元RI地区ガバナー

「変化」という言葉をますます耳にするようになりましたが、これは私たちがまさに変化の時代に生きているからです。キャリアの大半を通じて、私は大組織に急速な変化を導入するという仕事に携わってまいりましたが、この経験を通じて、私はあることに気づきました。それは、変化を受け

入れる組織は繁栄の可能性が高く、変化を避けようとする組織、または変化に取り残されてしまった組織は、次第に忘れ去られていくということです。

このような現実を思い知らせるかのように、ある有名なビジネス経営大学院は、その卒業生に「Adapt or Perish (適応するか、滅びるか)」と刻まれた恐竜の形をしたブロンズ製の文鎮を贈っているそうです。これは、組織が今日的な意味を持ち続けるためには、進化し続けていかなければならないことを卒業生たちに伝えているのです。

ロータリーにとっての課題は次のようになります。「社会の急激な変化に我々は適応していくべきか、それとも恐竜の仲間入りをするか」先のモットーが示すように、肝心なのは適応であり、新しいアプローチを開発することです。換言すれば、革新か、死か、ということです。「生き残るには変化という代償を払わねばならない」とは、ウィンストン・チャーチルの言葉です。

21世紀のはじめにあたる現在、現在社会の特徴を成す急激な変化については、あちこちで書かれています。世界の国々は、政治、経済、社会構造の劇的な転換期を迎えています。毎日の生活にも情報が氾濫し、ニュース、広告、インターネットから個人が得られる情報量には、まさに驚くべきものがあります。私たちは、情報時代から知識の時代へと移行しつつあるのですが、「知識の時代」を明確に特徴づけるもの、それは終わりのない変化です。「知識の時代」は、絶え間ない変化の氾濫をもたらし、また、その周期もさらに加速しています。次の事実について考えてみましょう。

- 知識ベースは2、3年ごとに倍増している。
- 毎日、7,000の科学的・技術的論文が発表されている。
- 大学の新生がそれまでに見たり読んだりした情報の量は、その祖父が生涯に経験した情報量よりも多い。
- 今後30年間に起こる変化は、過去3世紀に起こった変化と同じくらいである。
- ロータリーはこうした社会的変化の影響にさらされており、私たちはこれに対応しなければならない。

こうした状況を受けて、国際ロータリーは、奉仕の第二世紀に当組織を導いてくれるビジョンと長期計画の立案を開始しました。

クラブ・レベルでの支援を提供するために、クラブ・リーダーシップ・プランが作られました。これは地区リーダーシップ・プランの延長であり、ロータリーの安定と成長、そして成功に極めて重要なものです。クラブに指導のテクニックを提供するとともに、クラブの活動を導く管理的枠組みとなるものです。

クラブ・リーダーシップ・プランが、四大奉仕部門に取って代わる新しい委員会構成であると言われるのをしばしば耳にしますが、これは悲しいことです。意図するところはそうではなく、四大奉仕部門はこれからもロータリーの哲学的な礎石であり続けます。

クラブ・リーダーシップ・プランは、単なる新しい委員会構成に留まるものではありません。クラブが望むなら、プランを実施しても委員会構成は以前のままだと残すこともできるのです。

クラブ・リーダーシップ・プランの本質は、いくつかの重要なプロセスにあります。クラブ・リーダーシップ・プランの目的は、クラブのレベルでロータリーを強化することです。

- プロジェクトおよび意思決定の継続性
- 意思決定と目標設定に関する見解の統一
- 奉仕と親睦活動のバランス
- 十分な研修を受けたクラブ指導者層の増大
- 会員全員が積極的に参加することへの期待
- 全会員への継続教育の機会
- クラブ指導者の引継ぎ計画

クラブ・リーダーシップ・プランは、各クラブが独自の特性（アイデンティティ）を築くための土台を提供します。施行の段階は、すべてのロータリー・クラブが効果的となるために欠かすことのできないリーダーシップのプロセスなのです。皆さんも、ビジネスではこれらと同じ重要なリー

ダーシップのプロセスを踏んでいるものと存じます。クラブは、独自に選んだ方法でこれらに取り組むことができます。柔軟性のあるクラブ・リーダーシップ・プランは、ロータリー世界のどこでも実施することができます。プランは、ロータリーの創立以来、大きな成功を収めているクラブが用いてきた最善の方法（ベストプラクティス）に基づいています。

クラブ・リーダーシップ・プランの採用においては、現在、興味深い段階を迎えています。プランについて知り、実施しているクラブも多くありますが、まったく採用を考えていないクラブも多くあります。採用しているクラブも、毎年、プランを見直す必要があり、これは終わりなき旅のようです。

年に1人か2人の会員が純減して、いつの間にかひっそりと消滅していくクラブのことをよく耳にします。こうしたクラブの指導者の多くは、スキルと洞察力を備えておられるがゆえに、地域社会のビジネスで成功した方々です。もし、自分たちの事業が縮小しているとしたら、この方々は、ビジョンとキーププロセスを見直し、それが時代遅れのものにならないようにするはずですが、私たちがビジネスに有能な男女を会員として迎え入れているにもかかわらず、クラブの指導という点では、こうしたビジネスのスキルの活用をあまり奨励していません。多くのクラブは「いつもそうしてきたから」的なアプローチを好んでいます。

過去12年間、ロータリーは、会員を惹きつけ、維持するために甚大な努力を傾けてきました。多くの新会員を入会させることができた一方で、その多くが1年目で退会してしまうのも事実です。なぜ新会員を維持できないのでしょうか。これには、クラブ指導者の質が大きく影響する、と私は信じています。効果的な指導者は、クラブの例会の雰囲気をつくり、進路や数々の目標を定め、成果をねぎらいます。

次にその一例をご紹介します。最近、30代前半の聡明で人好きのする青年がロータリーに入会しました。私は彼に、会員となったことに満足してい

ないと打ち明けられました。リーダーとしてのノウハウを学び、人脈をつくり、年長の会員を恩師とし、そしてもちろん、世界でよいことをするためのプロジェクトに参加する機会を望んでいたのですが、私たちは彼の期待に応えていません。彼はクラブに留まり続けるでしょうか。いつの日かロータリーで偉大な指導者となる資質とエネルギーを備えた青年ですから、とどまってくれることを望んでいます。しかし、彼の捧げる時間や熱意と引き換えに、彼が望むものを与えなければ、彼は退会を決意することでしょう。

この偉大なる組織の未来は、クラブを導く指導者、つまり皆さんの地区のクラブ会長エレクトの肩にかかっています。必要な指導力は、既に会員の中から得ることができます。こうした指導力が、クラブ発展のために集中して活用されるよう、私たちは手続きを導入せねばなりません。クラブ・リーダーシップ・プランが形成されたのは、まさにこの理由からなのです。

来る年度にクラブを効果的に導くことは、地区指導者である皆さんの役割です。「夢をかたちに」という李東建会長エレクトのテーマを支援する一つの確かな方法、それは、地区内のクラブがこのプランを導入するよう奨励することです。

リーダーシップのベストプラクティスを伝え、支援することは、ガバナー・エレクトである皆さんの責務です。手段は整っています。あとは、導入を支援するために皆さんの助けが必要です。このチャレンジに立ち向かい、地区でのPETSでクラブ・リーダーシップ・プランを主要なトピックとして取り上げ、地区内クラブの指導者を助けながらプランの活用を自ら推進していただけるよう、皆さんにお願い申し上げます。皆さんにリーダーシップを発揮していただければ、会員を増やし、維持できる強くて効果的なクラブの伝統を作り出すこととなるでしょう。

組織改革は簡単ではありません。忍耐と粘り強さを必要としますが、生き残るためにはそうするしかありません。恐竜の辿った運命、「適応するか、滅びるか」を忘れないでください。